

第 85 回 器官の形成

■カエルの各胚葉から分化する組織や器官を説明せよ。

- ・ 神経胚期に器官の「原基」が形成される
- ・ 外胚葉：表皮→表皮
神経管→神経系、感覚器
- ・ 中胚葉：脊索→消失
体節→骨格、骨格筋、真皮、体腔壁
腎節→腎臓
側板→循環系、平滑筋、体腔壁
- ・ 内胚葉：消化管→消化系、呼吸系

※なお、神経しゅう近辺からこぼれ出る「神経堤」という細胞群は、独自の様々な細胞へ分化し、「第 4 の胚葉」とも呼ばれる

■ヒトの発生について概説せよ。

- ・ ヒトの場合、卵母細胞は、減数分裂第二分裂中期で分裂が停止しており、この状態で受精する
- ・ 受精後、卵割しながら子宮へ移動し、胚盤胞期に着床する
- ・ 胚、羊膜、尿のう、卵黄のうの形成
- ・ 胎盤の形成
- ・ 3 ヶ月を過ぎた頃には、器官の分化が終わり、「胎児」という呼び名になる
- ・ 出産の後、胎盤も排出される（「後産」と呼ばれる）